

4月の市議会議員選挙へ向けて立候補予定者が公開討論会

日時 3月24日(日) 午後7時～9時30分

会場 明石市民会館 中ホール

入場無料

出演 立候補を予定する現職、元職、新人ら10数名

市民自治あかしは、4月14日告示、21日投・開票の明石市議会議員選挙に立候補を予定している方々を招き「公開討論会」を開催します。市長選挙ではこの3月初めに開催するなどこれまでに3回開催してきましたが、市議選では初めてです。

市長と市政をチェックする市議会の役割は今回の市長選へ至る経緯などを見ても、ますます大きくなっています。明石市の“憲法”でもある自治基本条例とともに、市議会は2014年に議会基本条例を施行し、「市民自治のまちづくり」をめざす「明石市議会のあるべき姿」「議員のあるべき姿」をさまざまに規定しています。

この市議会の議員をめざす人たちが、どのような考え方をもち、どのように市民の声を市政に反映しようとするのかを、生の声でじっくりと聴いてみませんか？そして、4年間の議会を託す間違いのない選択をしましょう。

8万超す得票で泉房穂・前市長が3選 4月に再選挙へ

投票率 46.84% 暴言問題で全国注視の中、ダブル選の前回超える

1月末の泉市長の暴言問題報道に端を発した明石市長選挙の繰り上げ選挙は17日投・開票され、泉氏が8万票を超える大量得票で3選した。2月2日辞職した泉氏の当選によって、同氏は当初の4月末までの任期になるために、4月14日告示の市議選とともに再選挙が行われる。

市長辞職によって20年ぶりに市長選単独選挙に戻ったため投票率が懸念されていたが、46.84%とダブル選の前回2015年(45.5%)を1.3ポイントほど上回った。

泉氏は辞職後一貫して出馬の可否についての言明を避け、支持者らによる「泉続投を求める署名運動」と出馬要請に応える形で告示日の3日前に出馬を表明する異例の展開になった。

選挙戦では「お詫び」に終始し、政策の提示や候補者間の政策論争もないまま、選挙公報にも泉氏の分がない異様な展開になった。当初は、泉氏の前の市長である北口氏との真っ向からの政策論争が期待されたのが“空振り”に終わり、得票からすると泉氏への批判票が表面化しない選挙結果になった。

全国から注目された今回の選挙の経緯と選挙結果について、「市民自治のまちづくり」の観点から詳細な検証が必要になる。

泉 房穂(無所属・前)	80,795 票
北口寛人(無所属・元)	26,580 票
新町美千代(共産・新)	7,321 票
※投票率	46.84%(前回 45.5%)

2019年明石市議選の立候補予定者と公開討論会

2019年4月明石市議会議員選挙 立候補予定者

	氏名	所属	期数 年齢	経験	住所	出欠
1	三好 宏	自民党	3	現職	西明石南町	
2	辰巳浩司	自民党	3	現職	東仲ノ町	
3	梅田宏希	公明	6	現職	大久保町	欠
4	出雲晶三	無所属	5	現職	王子	欠
5	松井久美子	公明	5	現職	魚住町	欠
6	北川貴則	無所属	5	現職	相生町	出席
7	辻本達也	共産	4	現職	大久保町	出席
8	坂口光男	無所属	3	現職	野々上	欠
9	丸谷さとこ	無所属	1	現職	大久保町	出席
10	林 健太	無所属	1	現職	大久保町	
11	家根谷敦子	無所属	1	現職	大明石町	
12	尾倉あき子	公明	3	現職	樽屋町	欠
13	大西洋紀	無所属	5	現職	二見町	
14	千住啓介	無所属	3	現職	中崎	出席
15	佐々木 敏	公明	4	現職	東朝霧丘	欠
16	楠本美紀	共産	2	現職	大久保町	出席
17	国出ひろし	公明	3	現職	西明石南町	欠
18	宮坂祐太	無所属	2	現職	魚住町	出席
19	穂原成人	無所属	3	現職	二見町	
20	寺井吉広	無所属	2	現職	大久保町	
21	灰野修平	無所属	51	元職	大久保町	欠
22	榎本和夫	無所属	62	元職	大久保町	出席
23	林 丸美	立憲	43	後継	明南町	出席
24	遠藤繁浩	無所属	47	後継	大久保町	
25	竹内きよ子	無所属		後継	大久保町	欠
26	よしだ秀夫	無所属	59	後継	魚住町	欠
27	井藤圭順	無所属	48	後継	太寺	欠
28	飯田伸子	公明	54	後継	二見町	欠
29	藤浦研司	共産	60	新人	東野町	出席
30	若村まさより	国民民主	52	新人	小久保	欠
31	伊藤和貴	共産党	66	新人	魚住町	出席
32	森かつこ	維新	54	新人	西明石南町	欠
33	有野光洋	維新	38	新人		欠
34	筒泉寿一	維新	34	新人		欠
35	和田ひろし	無所属	42	新人	東藤江	出席
36	石井宏法	無所属	37	新人	林	欠
37	高尾秀彰	無所属	36	新人	大蔵中町	出席
38	西田節美	無所属		新人		

30議席を40人前後で争う

今回の市議選には、現時点で38名から40名程度の立候補が見込まれています。

現職は29名（欠員1）のうち9名が引退。うち6名はそれぞれの所属組織や家族が後継者として出馬する予定。再出馬するのは20名と見られます。

元職が2名、上記の後継新人が6名、その他新人が10名の見通しになっています。一部詳細が不明の予定者が表記載以外にも1、2名あるようです。

明石市議会は2014年に議会基本条例を施行し「市民に開かれた議会」「市民に対する説明責任を果たす」「市民意見を的確に把握し、多様な市民意見を反映させる」ことなど本格的な議会改革を進めることを宣言しています。

市民自治あかしはこの間13回にわたって、議会基本条例を遵守するように求めた請願を出してきましたが、すべて賛成少数で不採択とされています。

地方分権時代に入って20年を迎える今年は、住民に身近な自治体の役割はますます重要になり、市政をチェックする議員の役割は一層重要になります。

市議会を担うにふさわしい議員を、市民の目線で送り出しましょう。

一覧表の見方

氏名の太字は討論会出席回答者。「期数・年齢」現職は当選回数、新人は年齢。「後継」は引退する現職の後継新人。「出欠」は公開討論会の出欠確認。空欄は不明（回答なし）。